

## 「第7回徳山ダム環境保全対策委員会」審議内容メモ

日時：平成15年2月28日（金） 13：30～15：30

場所：名古屋逓信会館 6階 菊の間

出席者：（委員）佐藤委員長、阿部委員、駒田委員、前田委員、松井委員、水野委員、  
中村委員、西條委員（abc順）  
（事務局）約40名

### 【審議内容等】

#### 1. 前回（第6回）委員会の審議内容の確認

第6回委員会（平成14年10月8日）の審議内容を確認した。

#### 2. 事業の進捗状況及び今後の工事計画について

平成15年2月末までの工事進捗状況を確認した。

平成15年度の主要な工事予定に関する説明があった。

#### 3. プロジェクト実施状況について

各プロジェクトの活動状況と今後の活動予定について、以下のように報告と審議が行われた。

陸域環境：生育・生息環境PT

1)まとまった湿性地の整備状況について報告があり植生導入など、今後の整備の方向性について確認した。

2)横坑の形状によるコウモリ類の利用に関し、温度条件の微調整による夏場の利用の可能性も模索しながら横坑の整備を進めることを確認した。

陸域環境：植物PT

1)植物の重要な種の対策の進め方、特に移植自体が攪乱要因となること等を考慮した移植ヤードへの移植の考え方について確認した。

2)表土を利用した郷土種を尊重した植生回復の実施状況について確認した。

3)創出した湿性地にふさわしい植生導入の手法について提言した。

#### 河川環境 P T

- 1)環境保全河川における取り組みに関連して、岐阜県内水面漁場管理委員会の採捕禁止区域の設定について報告があり、魚類の乱獲等防止のための取り組みを継続していくことを提言した。

#### ワシタカ P T

- 1) C C D カメラ映像解析の成果について報告された。
- 2) 営巣環境解析、採餌環境解析についての今後の進め方について議論された。  
また、営巣環境解析については、繁殖していない箇所も加味した解析方法も検討すべきこと、繁殖適地抽出に全国的データだけでなく本地方の特性を反映すべきこと、影響検討に際し面積的なものだけではなく機能面の検討も加味すべきこと等の助言があった。

#### 4 . モニタリング計画について

各 P T での検討を踏まえ、総合的な観点からモニタリング調査計画について審議し、基本計画について了承した。

- ・モニタリングの結果として、外来種や新たに進入してくる種等に関する課題が提起された場合の対応方針について検討すべきとの助言があった。
- ・魚類については、貯水池内のあるべき魚種、採捕禁止、特に外来魚の放流等についての管理移行後までを見据えた検討をすべきとの助言があった。

#### 5 . 審議内容の確認

本日（平成 15 年 2 月 28 日）の審議結果を本メモに基づいて確認した。